

放送文化基金賞（放送技術部門）を受賞

TVh「バーチャルマスターオペレーター（VMO）」

放送局のBCP強化・業務効率化に貢献、遠隔での統合監視を可能に

(株)テレビ北海道(TVh、札幌市)が開発した、マスター（主調整室）業務のリモートオペレーションを実現するシステム「バーチャルマスターオペレーター（VMO）」が、公益財団法人放送文化基金が主催する「第51回放送文化基金賞（放送技術部門）」を受賞しました。

本賞は、視聴者に感銘を与えた優れた番組や配信コンテンツ、放送文化・放送技術の発展に顕著な功績を残した個人・グループを顕彰するものです。

今回の受賞にあたっては、VMOがマスター監視業務の効率化や、災害・障害発生時におけるBCP（事業継続計画）強化に貢献、放送局間の統合監視を可能にした点が高く評価されました。また、テレビ北海道が2024年12月に㈱エフエム北海道（AIR-G、札幌市）の夜間マスター監視業務を受託、VMOを活用した遠隔監視をすでに実施していることも受賞理由です。

テレビ北海道では、VMO技術の普及に向け、放送局に加えリモートオペレーションを必要とする様々な分野での普及に尽力して参ります。

バーチャルマスターオペレーター（VMO）操作画面



▼バーチャルマスターオペレーター (VMO)

放送局のマスター(主調整室)業務をはじめ、ビル・工場・インフラ設備などの監視業務をリモート運用できるシステムです。パソコン画面に各種監視ルームを忠実に再現し、実際の監視室にいるのと同様にリモートで監視・制御ができます。既存設備を改修せずに低コストかつ迅速に導入でき、監視制御サーバーを設置することで複数拠点を同時に統合監視できます。

<https://www.tv-hokkaido.co.jp/special/virtual-master/>

▼VMO 過去の受賞歴

- ・ 北海道総合通信局長表彰 (2025)
- ・ INTER BEE AWARD コンテンツ制作／放送・メディア (ハードウェア&ソフトウェア) 部門「準グランプリ」受賞 (2024)
- ・ 映像情報メディア学会 進歩開発賞 (現場運用部門) 受賞 (2023)
- ・ 民放連賞 技術部門「最優秀」受賞 (2023)

【問い合わせ先】

テレビ北海道：

札幌市中央区大通東 6 丁目 12 番地 4

VMO 推進室 高橋寿也 Tel：011-232-7157

技術・DX 推進局 高橋康二 Tel：011-232-1122